

Welcome to Wonderland (Blue Book)

Welcome to Wonderland Red Bookと同じ表紙ですが、開いてみると、いきなり大きなキリンがカエルのお姫様を見つめています。何が始まるのでしょうか。元気なカエルの男の子をクリックすると、何か聞こえてきますよ。次々と ***Blue Book***のスライドを進めていくと、どんなお話しが聞こえてくるのでしょうか。スピーカー・マークをクリックしてみてください。

Red Bookに引き続き、画面一杯に広がる美しいイラストの世界に入り込んで、英語の歌を聞いたり、可愛い子どもや動物たちのお話を繰り返し聞いてみましょう。***Red Book***でも聞いたことのある英語が耳に飛び込んでくると思います。

「今のお話は、この女の子のことだな」とか、「あ、このウマが歌ってる、このカメは歌えるかな」とあちこちクリックをしてみましょう。子どもたちは聞こえてくる英語に耳を澄ませ、豊かにイメージを膨らませ、夢中になって聞き続けてくれるに違いありません。さらに、イラストの中の動物や人物、それから図形と、ありとあらゆるものをクリックすることでしょう。ところどころにこっそり埋め込んである英語を見つけると、きっと繰り返しクリックして聞き続けてくれると思います。この仕掛け発見！は子どもの方が得意だろうと思います。こうして、たっぷり英語の世界に浸ることができるでしょう。

‘ジャックと豆の木’の物語では、あれ？家の中から怒鳴り声が聞こえてきます。何が起こっているのでしょうか。そっと壁が動かして覗いて見ましょう。後に戻すことも忘れずに！雲の向こうに隠れているのは誰かな？少しずつ動かしてみてください。スピーカー・マークをクリックすると、誰かの声が聞こえてきます。ジャックは無事にお母さんの元に帰ることができるのでしょうか。

最後はキリギリスとアリさんたちと一緒にアルファベットで遊びましょう。子どもたち一人一人が持っている絵本で **A-B-C**…と辿らせることもできます。ボード上の画面にクローンのタイルを作っておいて、それを文字の上に置いていくこともできます。 **ABC Song**を聞きながら、冬籠りのアリさんの巣穴から出て **A→Z**を上手に辿ると、また夏の陽射しの中に出ますよ。(こういうことが出来るのは、まさに電子ボードならでのこと、アナログ紙媒体だけで授業をしていた時を思うと、大きな進歩です。)

こんなふうにして、英語にたっぷり慣れ親しませ、英語感覚の種を蒔いておきましょう。可愛い目を出し、双葉が育って ***Green Book***でさらに楽しんでいると、その後が続く ***English in Action***で進める英語学習を支えてくれて、楽しみながら英語を使う力をつけていくことができると思います。

